

愛徳3位、投げ技華麗

体操

◇新体操◇
(野洲市総合体育館)

新体操団体の愛徳は、メンバー全員で「順位や点数は気にせず、一つ一つを丁寧に、最後まで集

中して笑顔で踊りきる」と確認してから臨んだ。「前半少しミスがあったが、後半しつかり切り替えられた」と小西主将。昨年から一つ順位を上げ、3位になった。

難度を示すDスコアの

高さが結果に結び付いた。メンバーは全員2年生で、互いを思いやれるのがチームの魅力。少しでも得点上がるよう、複数の投げ技を繰り返す難しい構成で、絶えず声を掛け合いながら練習を重ねてきた。

本番では音楽に乗って息の合った演技を披露。一番の見せ場の終盤では、クロスしての2本投げなどリボンが次々と美しく宙を舞い、選手の華麗な動きと融合して観客を魅了した。

次の舞台は全国大会。牛島副主将は「リボンの払いを強くするなど、まだまだ良くできるところがある。全国では今までで一番の演技をし、支えてくださる方への恩返しをしたい」と意欲を燃やした。

(金山成美)



新体操団体 3位に入った愛徳の演技

▽団体 ①金蘭会(大阪)

16・400点③愛徳11・600

0点④武庫川大付11・550

点

▽個人総合 ①生野風花

(兵庫・上甲子園)32・45

0点③鈴木(平岡)29・35

0点④菅原(中山五月台)27

・550点▽種目別ボール

①生野風花(上甲子園)16・

850点③鈴木(平岡)14・

700点▽同クラブ ①生野

風花(上甲子園)15・600

点③鈴木(平岡)14・650

点